

2025年2月3日 改定

2011年12月1日 制定

## 住友化学グループ 生物多様性行動指針

住友化学グループは、「サステナビリティ推進基本原則」に則り、人と自然が共生する社会を目指し、ネイチャーポジティブ<sup>\*1)</sup>に向けた取り組みを推進します。

### 1. 【経営における重要課題】

生物多様性・自然資本<sup>\*2)</sup>の保全・再興を経営の重要課題のひとつと位置づけます。

### 2. 【必要な視点】

グローバル・ローカルの両方の視点を持ち、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーと相互の関係性を統合的に捉え、責務と貢献の両面から、ネイチャーポジティブに向けた取り組みを推進します。

### 3. 【依存・影響の把握】

サプライチェーンを含む、自らの事業活動全体における生物多様性・自然資本への依存・影響の把握に努めます。

### 4. 【責務】

事業活動について、地域の特性を踏まえつつ、サプライチェーンとも連携して、環境負荷の継続的な削減を目指し、生物多様性・自然資本の保全・再興に取り組みます。<sup>\*3)</sup>

### 5. 【貢献】

技術・製品、サービスの開発・提供を通じて、バリューチェーン全体での生物多様性・自然資本の保全・再興に貢献します。<sup>\*4)</sup>

### 6. 【情報開示とステークホルダーとのコミュニケーション】

生物多様性・自然資本の保全・再興の取り組みに関する情報開示を積極的に行い、ステークホルダーへの情報提供や対話に取り組みます。

### 7. 【社会貢献活動】

ステークホルダーと連携・協働し、生物多様性・自然資本の保全・再興に資する社会貢献活動を継続的に行います。<sup>\*5)</sup>

## 8. 【啓発活動】

生物多様性・自然資本の保全・再興の重要性を正しく認識・理解することができるよう、社員をはじめ、地域住民や消費者などに対して啓発活動を行います。

### \*1) ネイチャーポジティブ：

自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること。

### \*2) 自然資本：

森林、土壌、水、大気、地下資源、生物資源など、自然によって形成される資本のこと。人々の生活や企業の経営基盤を支える重要な資本の一つ。

### \*3) 【責務】に関する取り組み事例：

エネルギーやプロセス由来のGHG 排出量削減、化学物質の適正管理、廃棄物排出量の削減、水資源の有効活用、サステナブル調達取り組み推進など

### \*4) 【貢献】に関する取り組み事例：

リジェネラティブ農業を推進する製品・技術の提供、プラスチック等の資源循環に貢献する技術の開発と社会実装、GHG 排出量削減に資する製品・技術・サービスの提供など

### \*5) 【社会貢献活動】に関する取り組み事例：

自然保護活動、植林活動、清掃活動など

以上